

胆石症

《最近、診断や治療の方法が大きく変化》

胆石症は胆のうや胆管に石ができる病気の総称です。胆汁という一種の消化液が肝臓で作られ、胆のうや胆管を通じて十二指腸に分泌されます。この胆汁によって、胆石という石ができることがあります。胆のうに石ができる胆石症を胆のう結石、胆管に石ができる胆石症を胆管結石といいます。以前の治療は開腹手術が一般的でしたが、最近の内視鏡手術が中心となっています。診断もエコー(超音波断層)やCT(コンピュータ断層撮影)、内視鏡を用いることが多くなりました。コンピュータの発達により情報がデジタル化され、このように診断や治療が大きく変化したのです。

単に胃痛を感じるだけの場合もあります。食事によって症状が現れる場合が多いのですが、特に脂っこいものや卵など、胆汁の分泌を引き起こしやすいものを食べた後に症状が現れやすくとされています。胆のう結石の診断は、エコーが最も高い精度を示すと思われまます。カルシウムなどを多く含む結石であればCTでも写るため、精度の高い診断ができます。また、採血検査も有効です。

胆のう結石では症状がある場合、内視鏡手術が一般的な治療法です。腹壁に穴を数箇所開け、腹腔鏡という内視鏡を用いて胆のうと結石を摘出します。腹壁に開ける穴は小さいので、身体への負担が少なく、合併症も起こりにくいとわれています。症状がない場合は、すぐに手術をする必要はありませんが、胆のうがんになる可能性が高くなるといわれているため、定期的な検査が必要です。

症状は、上腹部痛や吐き気、嘔吐、発熱、黄疸(眼球や皮膚が黄色になる状態)などです。上腹部痛は右側の背中から肩にかけて痛みを伴いますが、

胆管結石の診断は、エコーやCTでは結石が画像に映らない場合があり、内視鏡や造影検査が必要な場合があります。黄疸や採血検査における肝機能異常がある場合は、胆管結石の疑いがあります。しかし悪性腫瘍の可能性もあるため、精密検査が必要です。

治療は、症状がある場合は原則として手術を行います。

元気予報

⑪



原稿：今市医師団

休日急患こども診療所

ところ 今市保健福祉センター内(日光市平ヶ崎 109)
 診療日 日曜日、祝日、振替休日(年末年始は休止)
 診療科目 小児科
 ※入院を必要としない比較的軽症のお子さんの患者が対象です。
 診療時間
 昼間…午前9時～正午(受け付けは午前11時30分まで)
 午後2時～5時(受け付けは午後4時30分まで)
 夜間…午後7時～10時30分(受け付けは午後10時まで)
 電話番号 ☎ 30-7299(診療日のみ)

とちぎ子ども救急電話相談

お子さんの急病やけがで心配な時にご相談ください。
 開設日 毎日 午後7時～11時
 電話番号 ☎ 028-600-0099
 ※プッシュ回線の場合、局番なしの#8000で利用できます。
 利用上の注意
 ○この相談は電話によるアドバイスを行うものであり、診断などの医療行為を行うものではありません。また、慢性疾患や育児に関する相談は受けられません。
 ○緊急・重症の場合は、迷わず119番通報してください。
 くわしくは 県医事厚生課 ☎ 028-623-3157